

単元名	跳び箱運動	配当時間	4時間
単元の目標	<p>(1) 互いに励まし合って跳び箱運動をしたり，器械・器具の使用の仕方を工夫して安全に運動をしたりしようとする。</p> <p>(2) 自己の能力に適した技に取り組み，その技ができるようになるための活動を工夫することができる。</p> <p>(3) 自己の能力に適した課題をもって跳び箱運動を行い，支持跳び越しをすることができる。</p>		
単元を構想する上での留意点	<p>跳び箱運動は，「腕による体の支持」「高所からの飛び降り」「体の投げ出しからの腕支持」「腕を支点にした体重移動」などの力や感覚が必要であり，これらの力や感覚を易しい類似の運動によって体験させていくことが大切である。また，児童が意欲をもって取り組めるように，それぞれの技のステップに応じた場を設置し，易しい場でできたことを認め，新たな挑戦課題へと取り組ませていくことも大切である。児童一人一人の課題・技能により対応して指導するために，学年TT（または異学年TT）の態勢をとって指導できるとよい。</p> <p>本単元は基本的な学習活動の例であるが，学習の仕方に十分慣れていない段階で，できる技も少ない場合は，めあて1に時間をかけるなど弾力的に学習を進める。</p>		
単元展開例			
準備	跳び箱，マット，踏み切り板，ビデオ，技の連続図，学習カード など		
学 習 活 動	留 意 事 項 な ど		
<p>1 跳び箱運動の学習のねらいと内容を理解し，学習の仕方について見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習のねらいや進め方を知る。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;"> <p>自分の力に合った跳び越し方で，跳び箱を跳び越そう</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習カードや資料の使い方を知る。</li> <li>○マナーや安全な運動の仕方を知る。</li> <li>○グループを編成し，役割を分担する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○跳び箱運動に関連した体ほぐしの運動をする。</li> <li>○試しの運動をし，めあてをつかむ。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・開脚跳び ・かかえ込み跳び ・台上前転 など</li> </ul> </li> </ul> <p>2～3 跳び箱運動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○体ほぐしの運動をする。</li> <li>○本時のめあてや練習方法を確認する。</li> <li>○今できる跳び方で跳び箱運動を楽しむ。 (めあて1)</li> <ul style="list-style-type: none"> <li>・跳び箱の高さを高くして</li> <li>・跳び箱の向きを変えて</li> </ul> <li>○技のステップに応じた練習の場で，できそうな新しい技に挑戦する。(めあて2)</li> <li>○反省し，まとめをする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・できばえ ・態度 ・次時のめあての把握 など</li> </ul> </li> </ul> <p>4 発表会をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○体ほぐしの運動をする</li> <li>○演技種目の練習をする。</li> <li>○発表会をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビデオや示範，学習カードなどで技を紹介し，学習意欲を高める。</li> <li>・技のポイントや練習方法などを例示しておく。</li> <li>・器具がすみやかに準備できるよう分担しておく。</li> <li>・腕による体の支持や腕を支点にした体重移動等の感覚を体験させる。</li> <li>・学習カードをもとに，できる技を確認させ，自分にあつためあてをつかませる。</li> <li>・自分から進んで取り組めるように，学習カード，ビデオ，連続図などを用意し学習環境を整える。</li> <li>・無理なめあてに取り組んでいないか，安全に気を付けて練習しているかななどを観察し，必要に応じて助言する。</li> </ul> <p>評 自分に合っためあてをもって練習する活動を通して，「思考・判断」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元のまとめとして発表させる。</li> <li>・発表する跳び箱に補助者を置いたり，段を低くしたりした易しい場を用意し，完全なできばえでなくてもできたことを認め，発表させる。</li> </ul> <p>評 発表会を通して，「技能」を評価する。</p>		

○単元のまとめをする。

・めあてや態度について自己評価などをさせる。